

4年ぶり紅葉会

震災後初の双葉郡開催

双風

臨時版

乾杯の首頭をとる松本貞男副支部長



ご挨拶する鈴木恵一支部長

参加者は、双葉支部会員が十七名。校長会からは十八名の計三十五名の皆さんに御出席いただきました。

令和五年度「紅葉会」が、十一月十七日（金曜日）に楢葉町の「Jヴィレッジ」で開催されました。この四年間は、コロナで開催を見合わせてきましたが、落ち着きつつあること、また、大熊が町内で学校を再開させたことなどもあり（双葉町はまだですが）、郡内での開催となりました。郡内開催は、平成二十二年以来十二年ぶりのことです。

十二年ぶり

編集発行
福島県公立学校
退職校長会双葉支部
発行責任者
鈴木 恵一
事務局
☎ 961-0873
福島県白河市
松並1-8
小野田 敏之
090-2885-6492

校長先生をこ慰勞

その後、副支部長の松本

早川良一 双葉郡小中学校長連絡協議会長の
ご挨拶に始まり、今年度双葉郡内での学校再開を果たした大熊町立義務教育学校「学び含ゆめの森」の校長、南郷市兵先生に、大熊の学校が目指して取り組んでいる教育についてお話をいただきました。

大熊の教育について語る南郷市兵校長先生



鈴木恵一支部長、

貞男先生のご発声で乾杯、懇親会に移りました。出席した会員の皆様と校長先生全員から、自己紹介と現況についてご報告をいただき、和やかな懇談のうちにあつという間の二時間が過ぎました。相馬や会津にお勤めの郡内出身の校長先生方も駆けつけてくださり、楽しく、賑やかな一夜となりました。次年度の紅葉会が楽しみです。

お祝い申し上げます

令和五年度、本支部会員の志賀資隆先生が賀詞を、また石井賢一先生が瑞宝双光章を受けられました。心よりお祝いを申し上げます。おめでとごさいました。

故郷双葉の教育充実のために 川内・楢葉・浪江・大熊の学校を訪問

四年ぶりとなった今回の

学校訪問には、双葉支部から、鈴木恵一支部長、松本貞男、遠藤弘通両副支部長、小野田庶務の四名が参加しました。

十月十六日(月)に、川内小中と楢葉小中を。十一月七日(火)に、浪江小中と大熊小中を訪問させました。



川内の校長先生方と

この度の学校訪問を通して、子どもたちが一生懸命に取り組む様子、

校長先生はじめ先生方が意欲的に課題に取り組むお話を伺い、また、学校の活気にあふれた雰囲気に触れることができました。

震災と原発事故後の教育復興・創生に、各学校がご努力いただいておりますことを心強く感じました。関係の皆さまに敬意と感謝を申し上げます。

本支部といたしましても、被災体験を風化させないよう活動を続けるとともに、故郷双葉の教育充実のために陰ながら応援してまいります。



大熊の校長先生、教育長さんと



楢葉中の校長先生と



新築の校舎を拝見

4年ぶりの学校訪問でした

次年度は、今回訪問しなかった四町村(双葉町、葛尾村、富岡町、広野町)の学校訪問を予定しております。



浪江小中の校長先生と



楢葉小の校長先生と懇談



楢葉中の授業を参観中です

たいと考えております。今後とも会員の皆様の御協力をよろしくお願ひ申し上げます。



編集後記

○本年一月一日に発生しました能登半島地震で被災されました皆様並びにご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

この地震で被災された方々を支援するため、双葉支部では、会員の皆様から義援金を募り、被災地にお届けしたいと考えております。

別添の文書により、ご案内を差し上げておりますので、御協力をよろしくお願ひ申し上げます。

○今年度は、コロナも小康状態となり、これまで見合わせてきた各種行事も少しずつ再開されました。

オンラインも便利ですが、対面にはやはり対面でしか得られない楽しさがあります。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。